

鎌倉時代

(財) 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

おとこ 駆る平家は久しうからず 院政期に我が世の春をうたつた平家でしたが、やがて平家打倒を願い、関東で力を蓄えていた源頼朝一党により攻め滅ぼされます。

頼朝は武士を中心とした政治を始めるため、鎌倉に幕府を開きます。鎌倉には政所を置き、京都には、かつて平家の居住地であった六波羅に探題を置いて治安・警備にあたらせました。

京内・京外の遺跡 平安京は現在に至るまで都市として機能し続いていることから、各時代の遺構が入り混じってみつかります。そのため鎌倉時代のみの遺跡を調査することはありません。

鎌倉時代の遺構の密集した数少ない例のひとつに、京都駅周辺(平安京左京八条三坊)があります。

京都駅周辺は、これまでに数多くの発掘調査が行なわれている所です。駅舎の建て替えや塩小路通沿いのビルの建築にともなう調査



鎌倉時代の室町小路とビルの谷間に現在の室町通(南から)

では、鏡・刀の部品・仏具・金銭

みつかっています。

鏡などの鋳型や坩堝が大量に出土

このほか、七条通沿いの調査や

しています。さらに、鋳物を造っ

新町通沿いの調査など数箇所でも

ていた作業場と考えられる遺構も

鋳型・坩堝が出土しました。

略年表

鎌倉時代												室町時代				
平安時代後期	1185	1192	1199	1202	1221	1232	1236	1238	1271	1274	1281	1291	1313	1324	1333	1334
鎌ノ宿で平家が敗れる					建仁寺建立							南禅寺建立				
方丈記・平家物語・新古今和歌集					東福寺建立							文永の役				
源頼朝没する					小倉人一首							斐比ライ・ハーン元帝団を與す				
このころ俗は方形茅がつくられる					開創式日を制定							このころが久我町豪農の登場期				
源頼朝が象牙に御舟を焼く					承久の変							八条院町が東寺領になる				
												正中の大嘗				
												源氏事務所設立				
												建武新政				



桙社方形足

七条町出土
金永吉古印

八条三坊内には、七条町と八条院町がありました。七条町は七条大路に沿って開け、多くの商人・職人が住んでいました。酒屋や金貸しも多かったといわれています。また、八条院町は、八条三坊の南東部の4町以上を占めていた八条院源氏内親王（鳥羽天皇皇后）の邸宅の跡地に造られました。いろいろな職人や商人が住んでいたことが『東寺百合文書』によつてわかります。

平安京の周辺部には、鎌倉時代の遺跡がいくつかあります。

伏見区醍醐の稻荷社遺跡では、平安時代後期に建立された八角円堂と、東大寺大仏殿の再建を指揮した源氏の手になる鎌倉時代の方形堂がみつかっています。ここからは斗・肘木や壁材などの建築部材がたくさん出土しました。

同じく伏見区の久我東町遺跡は、大きな主要となる建物と、それに付属する建物数棟が、幅の広い濠に囲まれています。戦乱に備えた環濠集落のひとつと考えられます。鎌倉時代の後半が最盛期で、14世紀の中頃に廃絶します。

また、探題の置かれていた六波羅の地域では今までに何度も調査が実施されていますが、現状では「六波羅探題」に関するはつきりした遺跡はみつかっていません。

民衆の時代 これまで特權階級が独占していた感のある宗教や芸術などを、あらゆる階層の人々が共有することになります。この時代に、諱や鋪の民衆芸能が育まれやがて能に発展していきます。

新しい考え方の仏教が生まれ、法然、親鸞、日蓮、一遍などのわかりやすい「おしえ」は、人々に広く染み透っていきます。また奈西や道元によって禅宗が広まり、建仁寺、東福寺、南禅寺などの寺院が建立されます。

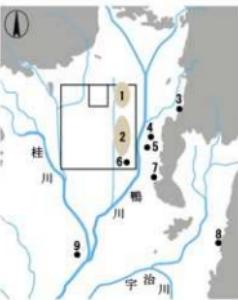
東福寺は鎌倉時代の終わり頃に火災・戦災で全ての建物を失なつておらず、現在の三門は室町時代に建てられたものです。解体修理の際に行なわれた発掘調査で創建時と同じ位置に三門が再建されたことがわかりました。また、その後の調査で、創建時の鐘楼・経蔵および回廊などをみつけています。

町の変化 左京に人々が集中す

るようになると、道路の上にも民家が建ち並ぶなど、しだいに条坊制は崩れていきます。

そして、京都の町は室町通を南北の軸として徐々に四条通と六条通の間の「下の町」と二条通に北の「上の町」との大きなまとまりに集約され、商工業の中心地としてさらに発展をとげていきます。

一方、二度にわたる元寇で大きな経済的負担をかかえた鎌倉幕府は、さらに何度も発生した災害などのためその威信を急激に失い、しだいに人々の心が幕府から離れていきます。こうした背景のもとに後醍醐天皇が天皇制の復権を謀ります。再び戦乱が起こり、正慶二年（1333）、鎌倉幕府はここに幕を閉じます。（鈴木廣司）



遺跡位置図 1 上の町 2 下の町 3 南禅寺 4 建仁寺 5 六波羅 6 七条町・八条院町 7 東福寺 8 稲荷社遺跡 9 久我東町遺跡



久我東町遺跡の建物と西側の濠（北から）



左京八条三坊三町で出土した鏡の鏡型